

草の根技術協力（草の根協力支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ジョージア国
2. 案件名	ジョージア国ディスヴェリ村における酪農技術向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	クヴェモ・カルトリ県はジョージア国で3番目に家畜飼育頭数が多く、酪農に適した地域ではあるが、ソ連崩壊後に国による技術支援が無くなったこと、集落移転後に新規酪農就農した者や親からの技術伝承を受けていない者が多いなどの要因もあり、ディスヴェリ村では基本的な酪農技術・知識が不足している。平均的な搾乳量は1日1頭あたり37L程度とかなり少なく、生乳収入でコストが賄えず赤字となる農家も存在しているが、ジョージア国には技術普及員制度といった行政による日常的な技術支援の仕組みは無く、酪農家は技術指導を受けられる環境に無い。また、生乳は村人が経営する小規模チーズ工場や隣村の生乳加工工場に販売されているが、乳質や乳量が安定しないことから、卸売りが不安定であることも問題となっている。この課題に対して本事業ではディスヴェリ村における乳生産量の増加・品質の向上に向けて、対象地域に適した酪農技術（栄養・搾乳・繁殖）の確立と酪農家に対する基礎的な酪農技術の指導を行う。
4. プロジェクト目標	ディスヴェリ酪農グループに適した酪農技術体系が確立される。
5. 対象地域	クヴェモ・カルトリ州 ボルニシ市 ディスヴェリ村
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	クヴェモ・カルトリ州 ボルニシ市 ディスヴェリ村、ディスヴェリ酪農グループ関係者
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <p>1. 対象農家の飼養管理技術（放牧、栄養、搾乳）が改善される。</p> <p>2. 酪農グループで、酪農に係る共同での課題解決に向けた機運が醸成される。</p> <p><活動></p> <p>1-1. 飼養管理基礎知識セミナーの開催（オンライン/現地） （放牧の管理/冬場の飼養管理/餌の種類/搾乳方法）</p> <p>1-2. 農家巡回調査および改善アドバイス（放牧管理/飼料給与方法/搾乳方法）</p> <p>1-3. モデル農家での改善試行と飼料給与体系の確立</p> <p>1-4. 最終版指導教材作成と農家向け報告会の開催</p> <p>2-1. 共同活動基礎知識セミナーの開催（オンライン/現地）</p> <p>2-2. 酪農グループで課題検討会の実施（牛の飲用水の確保方法等）</p> <p>2-3. 酪農グループとジョージア酪農協会との課題検討会の実施</p>
8. 実施期間	2022年3月～2025年3月（3年0ヵ月）
9. 事業費概算額	10,989千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	<p><日本側実施団体> とかち地域活性化支援機構</p> <p><ジョージア側実施団体> ジョージア酪農協会、ディスヴェリ村、ディスヴェリ村酪農グループ</p>
II. 団体の概要	
1. 実施団体/指定団体	一般社団法人とかち地域活性化支援機構
2. 主な活動内容	地域課題解決、地域活性化、地域企業の社員教育、人材育成活動、インターンシップに関する活動および、国際協力、海外展開に関する活動